

令和8年度 総合型選抜入試（学科課題型）事前課題

この「事前課題」は予定のものになります。

出願の際には入学試験要項で内容を再度必ずご確認ください。

経営学部 経営学科

今日の企業経営において、SDGs に対する取り組みは重要な課題である。そこで、以下の問いについて答えなさい。

SDGs に掲げられたゴールを達成するためには、企業が果たす役割も非常に大きい。そこで、ある企業が SDGs に取り組もうとしている。新しい取り組みを行う場合、どのような種類の企業がどのような取り組みを具体的にを行うことが、SDGs の達成に貢献できると考えられるか。予想される達成度も示しながら、あなたの考えを述べなさい（1000 字～ 1200 字）。

※ SDGs17 の目標から一つを挙げること。

※ 参考にした資料がある場合、その著者名、資料またはウェブサイト名、出版社名または URL、出版年などの情報を、最後に記載すること。なお、参考資料情報は、文字数に含まない。

経営学部 データ サイエンス学科

あなたが関心をもっていることや、日常的に関心を向けている分野（例：ビジネス、エンタメ、社会課題など）について、データを活用することで、どのように課題の解決や利便性の向上が図れると考えますか。また、そのような場面において、データを扱う力（データサイエンス）を身につけることには、どのような意味や価値があると考えますか。あなたの考えを記述しなさい。

以下の書式に従って記述すること

- ・横書きで文字数は 1,000~1,200 文字とする
- ・文章は「です・ます」調ではなく、「である」調で書くこと
- ・文献から引用する場合や、参考とした資料がある場合、その資料の著者名、資料名あるいは Web ページ名、出版社名あるいは URL、出版年の情報を回答の最後に記述すること。ただし、この情報は文字数に含まない。
- ・ワープロソフトで作成し、A4 版に印刷したものを提出してもよい。

経済学部 経済学科

現在の日本の経済的な課題を 1 つ挙げ、それに関連した自分自身の体験と得られた学びについて具体的かつ詳細に、1,000~1,200 字で述べてください。

データや参考文献を資料として引用する場合は、解答の最後に必ずその出典（資料の著者名、資料の名前、出版社名、出版年、URL など）も明記してください。なお、参考文献の記載部分は文字数には含まれません。

**法学部
法律学科**

あなたに関心をもつ法的な問題について、次の手順で小論文を書いてください（字数は1,200字以上。ただし、参考文献一覧や図表を付ける場合には、それらは文字数に含まれない）。

- (1) なぜそれが問題だと考えるのかについて説明する。
- (2) その問題の原因について、具体的に分析する。
- (3) その問題に関してどのような解決策をとるべきかについて、具体的な根拠を挙げながら自分の意見を述べる。

**国際関係学部
国際関係学科**

国際関係学科のカリキュラム内容を確認したうえで、以下の二つの問題から一つを選び、解答しなさい（1,000 ～ 1,200 字）。

- (1) あなたの志望理由をもとに、大学で学びたい具体的なテーマについて独自に調べてまとめ、自分の見解について説明しなさい。
（参考とした資料がある場合、「著者名」、「資料/ウェブサイト名」、「出版社名/URL」、「出版年」などを最後に記載すること。参考資料情報は、本文文字数に含まない。）
- (2) 国際関係学科（学部）は「国際社会の平和と協力の促進に貢献できる人材」の育成に力を入れています。国際関係学科の求める人材像のキーワードの一つは「個性と共生」です。この点を踏まえて、あなたの思う「国際社会の平和と協力の促進に貢献できる人材」像について説明しなさい。

**国際関係学部
多文化コミュニケーション学科**

多文化コミュニケーション学科のカリキュラム内容を確認したうえで、以下の問題からどちらか一つを選び、解答しなさい(1,000 ～ 1,200字)。

- (1) あなたの志望理由をもとに、大学で学びたい具体的なテーマについて独自に調べてまとめ、自分の見解について説明しなさい。
（参考とした資料がある場合、「著者名」、「資料/ウェブサイト名」、「出版社名/URL」、「出版年」などを最後に記載すること。参考資料の情報は文字数には含めない。）
- (2) 現在の日本社会における多文化共生の理想と現実について説明した上で、日本において多文化共生社会を実現していくためには何が必要なのか、自分はそれにどのように貢献できるかについて述べなさい。
（参考とした資料がある場合、「著者名」、「資料/ウェブサイト名」、「出版社名/URL」、「出版年」などを最後に記載すること。参考資料の情報は文字数には含めない。）

社会学部
現代社会学科

インターネットやスマートフォンの普及に伴い、SNS（Social Networking Service、ソーシャル・ネットワーキング・サービス）は子どもたちのコミュニケーションや情報収集において不可欠なツールとなっています。しかしその一方で、SNS依存、いじめ、不適切な情報への接触、犯罪被害、個人情報の漏えいなど、様々なリスクも指摘されています。これらのリスクから子どもを守るため、近年、海外では子どものSNS利用を法的に規制する動きが見られます。

これについて、以下の問いに答える形で計1,000～1,200字程度で論じなさい。

- (1) 海外では、具体的にどのような規制が導入または検討されていますか。その概要を簡潔に記述しなさい。
- (2) こうした規制には、どのような課題や懸念があると考えられていますか。
- (3) あなたは、子どものSNS利用を規制することについて、賛成ですか。それとも反対ですか。あなたの考えを理由とともに論じなさい。

（参考資料がある場合、著者名、資料/ウェブサイト名、出版社名/URL、出版年などの情報を最後に記載すること。参考資料情報は、本文文字数に含まない。）

※実際の事前課題は『入学試験要項』の『入学試験出願書類』で必ず確認してください。また、出願の際には本学所定の記入用紙を使い自筆で作成してください。データサイエンス学科はワープロソフトを使用して作成したのもも提出が可能です（詳しい書式については『入学試験出願書類』を確認のこと）。他の出願書類（調査書等）と合わせて提出してください。

※入学試験要項は8月以降に「あじばこ（マイページ）」、公式HPで公開予定です。